

令和5年度（第44期）事業報告

定款第55条の規定に基づき、令和5年度（第44期）の事業について、別紙1および別紙2のとおり報告いたします。

一般社団法人 エネルギー・資源学会

令和5年度事業報告書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

1. はじめに

令和5年度となり新型コロナウイルス感染症への警戒レベルは引き下げられ、感染リスク自体は残存しているものの、世界的に人々の行動は活発となり、経済の活性化につながることを期待されている。一方で、ロシアのウクライナ侵攻は一向に終結する兆しはなく、イスラエルのガザ侵攻についても調停案は何度か示されているものの同意には至らないまま今日に至っている。これに加え円安の進行も相まって、我が国のエネルギーセキュリティの重要性が一層強く認識されるようになっており、当学会の活動や情報発信が社会的にも大変重要であることが強く認識された1年となった。

2. 企画関係事業実績

(1) 研究発表会

第42回エネルギー・資源学会研究発表会（以下、研究発表会）を8月1日・2日の2日にわたり、大阪市北区中之島の大阪大学中之島センターで開催した。

(2) エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス

第40回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス（以下、コンファレンス）を1月30日・31日の2日にわたり、東京都目黒区駒場の東京大学生産技術研究所（東京大学駒場IIキャンパス）にて開催した。

(3) 特別講演会

研究発表会、コンファレンス開催に合わせてそれぞれ2件、1件の特別講演を実施した。

(4) 研究プロジェクト

研究プロジェクト「エネルギーのカーボンニュートラル化に関する調査研究」の第2期（後半）の調査・研究を実施した。エネルギーのカーボンニュートラル化に関するオーストラリア調査、見学会、また講演会に要した費用、事務局人件費等を控除し、年度末に残った金額を研究プロジェクト最終報告書作成等準備金資産として特定資産に計上した。

(5) エネルギー政策懇話会

エネルギー政策懇話会をこの1年に6回開催した。オンラインで開催した第6回を除き、会終了後に交流会を実施した。

(6) 研究部会・サマーワークショップ

サマーワークショップ2023を9月25日に開催した。

(7) 研究委員会

家庭部門のCO₂排出実態統計調査利用研究会

令和5年2月13日から第4フェーズを開始し、令和6年2月21日に終了した。

研究発表会とコンファレンスにて企画セッションを設けた。

(8) 講習会・講座

第1回講習会「広域連系系統マスタープランを含む今後の電力系統整備の展望」を3月6日に東京都中野区の（株）構造計画研究所にて開催した。

(9) 研究会・見学会

10月24日に大阪ガス「カーボンニュートラルリサーチハブ」（大阪市此花区）にて研究会を開催した。

(10) 共催行事への対応

他団体との共催行事を3回開催した。

3. 編集関係事業実績

(1) 会誌「エネルギー・資源」の刊行

年6回奇数月の10日に会誌を刊行した。各号の特集は以下の通り。

2023年5月号 「太陽放射改変と大気からの二酸化炭素除去：展望と課題」

7月号 「重工業におけるエネルギー・トランジションへの取り組み」

9月号 「2050年カーボンニュートラル社会構築に向けたセクターカップリングの取り組み」

11月号 「原子力発電の現状、課題、展望」

2024年1月号 「本格化する洋上風力発電」

3月号 「日本における再エネ早期大量導入には何が必要か？」

(2) 投稿・採択された論文件数

令和5年度は、研究論文26件（うち英文1件）、技術論文13件（うち英文1件）、展望・解説3件の投稿があった。また前年度からの査読分を含めて研究論文23件（うち英文2件）、技術論文6件、展望・解説2件が採択され、研究論文・技術論文は会誌に論文要旨が、J-STAGE上の学会論文誌に論文本文が掲載された。

4. 総務関係事業実績

第12回学会賞1件、第12回学会貢献賞2件、第11回茅賞1件、第11回学生発表賞2件、第19回論文賞2件の表彰を研究発表会の表彰式で行った。

5. 主な会議開催実績

(1) 社員総会

令和5年度（第44期）定時社員総会を令和5年6月7日に開催し、以下の議事が決議された。

項目	内容
日時	令和5年6月7日（水）13時15分～13時50分
場所	中央電気倶楽部 西館317号室
出席者	102名（うち、書面による議決権行使86名）
議事	(1) 令和4年度（第43期）事業報告（報告事項） (2) 令和4年度（第43期）決算報告書（案）承認（決議事項） (3) 令和5年度（第44期）事業計画・収支予算の報告（報告事項） (4) 理事12名選任（決議事項） (5) 監事2名選任（決議事項） (6) 定款の一部変更（代議員数の変更）（決議事項）
議長	手塚 哲央

(2) 理事会

定例理事会を3回（オンライン開催）開催、臨時理事会を1回（ハイブリッド開催）開催し、以下の議事が承認された。

(第1回理事会)

項目	内容
日時	令和5年5月17日（水）10時30分～11時35分
場所	オンライン開催
出席者	理事9名、監事1名
議事	(1) 会員の入会承認・退会報告の件 (2) 令和4年度事業報告案および決算案の承認について (3) 任期満了に伴う役員改選について (4) 定款に定める代議員数の変更について (5) 令和5年度定時社員総会の目的である事項、日時及び場所について (6) 学会賞他各賞受賞者の承認について (7) 諸報告
議長	手塚 哲央

(第2回理事会)

項目	内容
日時	令和5年11月20日（月）15時00分～16時30分
場所	オンライン開催
出席者	理事10名、監事1名
議事	(1) 「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程」の制定について (2) 退職金の支給について (3) 退職者の再雇用契約および事務局長の雇用契約について (4) 諸規則の字句微修正について (5) 会員の入会承認および退会報告 (6) 令和6年度（第45期）定時社員総会開催日時等について (7) 諸報告
議長	下田 吉之

(第3回理事会)

項目	内容
日時	令和6年3月27日（木）10時～12時
場所	オンライン開催
出席者	理事9名、監事2名
議事	(1) 会員の入会承認・退会報告の件 (2) 令和6年度事業計画案および収支予算案について (3) 第43回研究発表会特別講演の件 (4) 各委員会委員選任の承認について (5) 謝金・旅費・原稿料等規程の改正について (6) 諸契約の変更について (7) 前回議事録の承認について この他報告事項4件
議長	下田 吉之

(臨時理事会)

項目	内容
日時	令和5年6月7日(水) 14時00分～14時10分
場所	中央電気倶楽部 西館315号室
出席者	理事9名、監事2名(含むオンライン参加)
議事	(1) 代表理事選定の件 (2) 業務執行役員選定の件 (3) 名誉会員選任の件
議長	下田 吉之

(3) 企画実行委員会

企画実行委員会では会議をオンラインで4回(5月10日、8月22日、10月26日、2月21日)、対面で1回(12月18日)開催した。

(4) 編集実行委員会

編集実行委員会では、会議をオンラインで2回(4月4日、6月20日)、ハイブリッドで4回(8月21日、10月11日、12月4日、2月20日)開催した。

(5) 総務委員会

総務委員会では会議をオンラインで3回(4月20日、11月1日、2月29日)、書面にて1回(3月21日)開催した。

6. 出版事業の状況

書籍「スマートエネルギーシステム」が13冊販売され、137,500円の収益があった。
(前年度は28冊の販売があり、225,500円の収益)

(参考)会員数の推移

種別	前期末 (令和5年3月31日)	今期末 (令和6年3月31日)	増減
正会員	883名	855名	△28名
	うちA 299名	うちA 310名	A +11名
	B 584名	B 545名	B △39名
学生会員	89名	94名	+5名
特別会員	107社・団体(129口)	109社・団体(129口)	±0口

以上

(別紙2)

令和5年度(第44期)事業報告書 附属明細書

1. 企画関係

1-1 研究発表会

第42回エネルギー・資源学会研究発表会

[日 時] 令和5年8月1日(火)～2日(水)
[場 所] 大阪大学 中之島センター
[発表時間] 1件20分(講演15分、討論5分)
[発表件数] 65件
[参加者] 1日 164名、2日 161名

1-2 コンファレンス

第40回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス

[日 時] 令和6年1月30日(火)～31日(水)
[場 所] 東京大学 生産技術研究所
[共 催] 電力中央研究所、日本エネルギー経済研究所、エネルギー総合工学研究所、地球環境産業技術研究機構、
コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
[協 賛] 化学工学会、日本原子力学会、日本エネルギー学会、(株)三菱総合研究所、電気学会、日本機械学会、
日本シミュレーション学会、公益事業学会、日本エレクトロヒートセンター
[発表時間] 1件20分(講演15分、討論5分)
[発表件数] 125件
[参加登録者] 30日 236名、31日 232名

1-3 特別講演会

第42回エネルギー・資源学会研究発表会特別講演会

[日 時] 令和5年8月1日(火) 14:50～17:00
[場 所] 大阪大学 中之島センター
[次 第] *会長挨拶
*特別講演
1. 「内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)におけるエネルギーイノベーション」
内閣府、岐阜大学、電力中央研究所、東京工業大学 浅野 浩志
2. 「量子アニーリング等イジングマシンの研究開発の現状と展望」 慶應義塾大学 田中 宗
[参加者] 82名
[司 会] 松橋 隆治(東京大学)

第40回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス特別講演会

[日 時] 令和6年1月30日(火) 16:30～17:40
[場 所] 東京大学 生産技術研究所
[次 第] *会長挨拶
*特別講演
「東京電力パワーグリッドが目指す市場主導型のネットワーク運用」 東京電力パワーグリッド(株) 小林 直樹
[参加者] 104名
[司 会] 松橋 隆治(東京大学)

1-4 研究プロジェクト

研究プロジェクト「エネルギーのカーボンニュートラル化に関する調査研究」

*第2期(後半) 令和5年4月1日～令和6年3月31日
*調査委員会を年間9回(施設見学6回、講演会1回、合同開催2回)、およびオーストラリア調査を実施し、最終報告書作成を進めた。
委員長 : 松橋 隆治(東京大学)
副委員長 : 加藤 丈佳(名古屋大学)、岩田 充弘(関西電力(株))、石井 啓(東京ガス(株))
アドバイザー : 浅野 浩志(岐阜大学、電力中央研究所、東京工業大学)、下田 吉之(大阪大学)
委 員 : 17名

1-5 海外調査

エネルギーのカーボンニュートラル化に関するオーストラリア調査団

*同上研究プロジェクトメンバーを中心としたオーストラリア調査団を編成し、派遣した。
[日 程] 令和5年12月11日(月)～16日(土)
[団 長] 松橋 隆治(東京大学)
[副団長] 加藤 丈佳(名古屋大学)、岩田 充弘(関西電力(株))、石井 啓(東京ガス(株))
[参加者] 13名
[訪問先] 1. CO2CRCにおけるCCS技術開発・実証の取り組み
2. 日豪水素サプライチェーン実証プロジェクト(HESC)
3. Woodside Energy Ltd.(天候不良による飛行機の運航キャンセルにより訪問中止)
4. ATCO
5. Hazer
6. TG植林サイト

1-6 懇話会

第1回エネルギー政策懇話会 (ハイブリッド開催)

[日 時] 令和5年6月7日(水) 14:40~17:00(懇話会), 17:00~18:30(交流会)
[場 所] 中央電気倶楽部
[参加者] 50名
[テーマ] 「CCUSの最新動向と課題」
[話題提供者] 1. 上條 孝(三菱重工業(株))
2. 萩原 利幸(日本CCS調査(株))
[司 会] 秋元 圭吾(地球環境産業技術研究機構), 富岡 洋光(関西電力(株))

第2回エネルギー政策懇話会 (ハイブリッド開催)

[日 時] 令和5年8月3日(木) 15:00~17:00(懇話会), 17:00~18:30(交流会)
[場 所] 東京ガス(株)本社ビル会議室
[参加者] 28名
[テーマ] 「ブロックチェーンとエネルギー分野のDX」
[話題提供者] 1. 阿部 力也(デジタルグリッドコンソーシアム)
2. 松浦 幹太(東京大学)
[司 会] 前田 章(東京大学), 波多江 徹(東京ガス(株))

第3回エネルギー政策懇話会 (ハイブリッド開催)

[日 時] 令和5年9月14日(木) 15:00~17:00(懇話会), 17:00~18:30(交流会)
[場 所] 東桜会館
[参加者] 52名
[テーマ] 「オンサイト, オフサイトのPPA (Power Purchase Agreement)」
[話題提供者] 1. 小西 康哉((株)三菱総合研究所)
2. 嶋崎 忠文(NTTアノードエナジー(株))
[司 会] 加藤 丈佳(名古屋大学), 青木 修一(東邦ガス(株))

第4回エネルギー政策懇話会

[日 時] 令和5年12月6日(水) 15:00~17:00(懇話会), 17:00~18:30(交流会)
[場 所] 日本教育会館
[参加者] 21名
[テーマ] 「ローカルエリアでの脱炭素エネルギー・サプライチェーン構築に向けた取り組みと課題」
[話題提供者] 1. 中島 精一((株)IHD)
2. 坂本 正樹((株)やまなし hidroジェンカンパニー)
[司 会] 工藤 拓毅(日本エネルギー経済研究所), 伊野 慎二((株)構造計画研究所)

第5回エネルギー政策懇話会

[日 時] 令和6年1月15日(月) 15:00~17:00(懇話会), 17:00~18:30(交流会)
[場 所] 中央電気倶楽部
[参加者] 25名
[テーマ] 「住宅・建築物のカーボンニュートラル化」
[話題提供者] 1. 秋元 孝之(芝浦工業大学)
2. 鶴崎 敬大((株)住環境計画研究所)
[司 会] 小杉 隆信(立命館大学), 西田 亮一(大阪ガス(株))

第6回エネルギー政策懇話会 (オンライン開催)

[日 時] 令和6年3月4日(月) 15:00~17:00
[参加者] 50名
[テーマ] 「LCCO₂評価とGHGプロトコル」
[話題提供者] 1. 菊池 康紀(東京大学)
2. 高瀬 香絵(自然エネルギー財団)
[司 会] 松橋 隆治(東京大学), 櫻井 一貴(NTTアノードエナジー(株))

1-7 研究部会

サマーワークショップ2023 (ハイブリッド開催)

[日 時] 令和5年9月25日(月) 13:00~17:00(終了後、技術交流会を開催)
[場 所] 東京大学 本郷キャンパス
[協 賛] 環境経済・政策学会, 省エネルギーセンター, 電気学会東京支部,
日本エネルギー学会, 空気調和・衛生工学会,
日本オペレーションズ・リサーチ学会
[参加者] 27名
[テーマ] 「エネルギー・資源と関連の深いSDGsを考える ~水・エネルギー・食料の相互関係(Nexus)に着目して~」
[講 演] 講演「水・エネルギー・食料連環:地球水循環の観点から」
講師 花崎 直太(国立環境研究所)
講演「カーボンニュートラルとエネルギー・食料システム」
講師 林 礼美(地球環境産業技術研究機構)
[代表幹事] 藤野 純一(地球環境戦略研究機関)
[幹 事] 井上 智弘(エネルギー総合工学研究所), 井上 麻衣((株)リバネス), 上道 茜(早稲田大学),
小澤 暁人(産業技術総合研究所), 白木 裕斗(名古屋大学), 杉山 昌広(東京大学),
永井 雄宇(電力中央研究所), 東谷 拓弥(東京農工大学), 藤澤 星((株)フジサワ),
古林 敬顕(秋田大学), 渡邊 裕美子((株)Looop)
[顧 問] 松橋 隆治(東京大学)

1-8 研究委員会

家庭部門のCO₂排出実態統計調査利用（第4フェーズ）

*第42回エネルギー・資源学会研究発表会、第40回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンスで企画セッションを開催した。

1-9 講習会

第1回講習会

[日 時]	令和6年3月6日（水）13：00～16：55		
[場 所]	(株)構造計画研究所 本所新館B1Fレクチャールーム		
[参加者]	35名		
[テーマ]	「広域連系システムマスタープランを含む今後の電力系統整備の展望」		
[次 第]	1. 広域連系システムのマスタープランにおける将来の長期展望 2. 広域整備計画の具体的な進展について 3. 新北本（自励式HVDC）の建設と将来の北海道地内系統増強について 4. マスタープラン断面におけるローカル系統の展望 5. 系統のみならず発電構成を含めた最適化計算例 6. 系統増強低減のための需要側対策の重要性	電力広域的運営推進機関 電力広域的運営推進機関 北海道電力ネットワーク(株) 東京電力パワーグリッド(株) 東京大学 東京大学	松田 章志 倉本 学 内海 貴徳 望月 達也 藤井 康正 岩船 由美子
[司 会]	秋元 圭吾（地球環境産業技術研究機構）		

1-10 研究会・見学会

第1回研究会（見学会併催）

[日 時]	令和5年10月24日（火）14：30～17：40
[場 所]	大阪ガス カーボンニュートラルリサーチハブ（大阪市此花区）
[参加者]	18名
[テーマ]	「大阪ガス・カーボンニュートラルリサーチハブ」
[コーディネーター]	西田 亮一（大阪ガス(株)）

1-11 共催行事

日本ファイナンス学会、環境経済・政策学会、エネルギー・資源学会合同シンポジウム

(オンライン開催)	
[日 時]	令和5年11月11日（土）
[主 催]	日本ファイナンス学会

第61回燃焼シンポジウム

[日 時]	令和5年11月15日（水）～17日（金）
[場 所]	秋田アトリオン
[主 催]	日本燃焼学会

原子力総合シンポジウム2023

(ハイブリッド開催)	
[日 時]	令和6年1月22日（月）
[場 所]	日本学術会議講堂
[主 催]	日本学術会議 総合工学委員会、総合工学委員会原子力安全に関する分科会

1-12 企画実行委員会（茅賞・学生発表賞選考委員会）

第1回企画実行委員会

(オンライン開催)	
[日 時]	令和5年5月10日（水）
[出席者]	22名
[座 長]	松橋 隆治

第2回企画実行委員会

(オンライン開催)	
[日 時]	令和5年8月22日（火）
[出席者]	18名
[座 長]	松橋 隆治

第3回企画実行委員会

(オンライン開催)	
[日 時]	令和5年10月26日（木）
[出席者]	20名
[座 長]	松橋 隆治

第4回企画実行委員会

[日 時]	令和5年12月18日（月）
[場 所]	電力中央研究所
[出席者]	17名
[座 長]	松橋 隆治

第5回企画実行委員会

(オンライン開催)	
[日 時]	令和6年2月21日（水）
[出席者]	20名
[座 長]	松橋 隆治

(注) 第2回、第5回企画実行委員会は、茅賞・学生発表賞選考委員会（座長：松橋 隆治）を併催。

2. 編集関係

2-1 会誌「エネルギー・資源」の刊行

通巻259号（5月号）

令和5年5月10日刊行（本文72頁）

[特集] 太陽放射改変と大気からの二酸化炭素除去：展望と課題

- (1) 特集にあたって
- (2) 気候変動対策のポートフォリオの観点から考える二酸化炭素除去と太陽放射改変
- (3) 太陽放射改変ガバナンスのレビュー
- (4) 太陽放射改変の科学的理解の現状と課題
- (5) 残されたバジェットを超過するとき：負債のメタファーから読み解く二酸化炭素除去と太陽放射改変の役割

東京大学	藤井 康正
東京大学	杉山 昌広
東京大学	杉山 昌広
海洋研究開発機構	渡辺 真吾
国立環境研究所	朝山慎一郎

- (6) 太陽放射改変の副次的影響を考慮した統合評価の動向
- (7) 二酸化炭素除去の必要性とその統合評価
- (8) バイオマスシステムによる炭素除去の可能性と課題：
実装に向けた世界の現状分析から

立命館大学 小杉 隆信
 エネルギー総合工学研究所 加藤 悦史
 自然エネルギー財団 相川 高信

[論文要旨掲載件数]
 研究論文4件、技術論文1件

通巻260号 (7月号) 令和5年7月10日刊行 (本文72頁)

[特集] 重工業におけるエネルギー・トランジションへの取り組み

- (1) 特集にあたって
- (2) 国内外におけるエネルギー・トランジションの動向
- (3) 国際水素サプライチェーン構築に向けた取り組みについて
- (4) カーボンニュートラル達成に向けた水素・アンモニア焼きガスタービンの取り組み

川崎重工業 砂野 耕三
 地球環境産業技術研究機構 秋元 圭吾
 川崎重工業 亀野 雄一
 三菱重工業 藤原 直人

- (5) 火力発電所への適用に向けたアンモニア燃焼技術の開発動向
- (6) バイオマス混焼火力発電所へのEFBペレットの適用性評価
- (7) カーボンニュートラル社会実現に向けたCO₂回収技術への取り組み
- (8) 固体吸収材を用いたCO₂回収

IHI 小松謙治朗
 IHI 林 明典
 IHI 小泉 浩美
 IHI 飯田 裕明
 三菱重工業 松成 祥平
 川崎重工業 荒川 宜彬
 川崎重工業 奥村 雄志
 川崎重工業 沼口 遼平
 川崎重工業 西部 祥平
 川崎重工業 熊田 憲彦

[論文要旨掲載件数]
 研究論文4件

通巻261号 (9月号) 令和5年9月10日刊行 (本文62頁)

[特集] 2050年カーボンニュートラル社会構築に向けたセクターカップリングの取組み

- (1) 特集にあたって
- (2) セクターカップリングによる問題解決と技術
- (3) デンマークにおけるセクターカップリング
- (4) 需要側エネルギーリソースを活用したデマンドレスポンス
- (5) V2Xの動向と展望

横浜国立大学 吉田 聡
 東京電力ホールディングス 増淵 修司
 東京ガス 馬場 好孝
 電力中央研究所 高橋 雅仁
 デンマーク王国大使館 田中いづみ
 佐藤 勇一
 高橋 叶

- (6) 再生可能エネルギー由来のガス体エネルギー (水素) 製造・
利用の実証事業 (山梨県米倉山PtoG実証)
- (7) 合成メタン (e-methane) の社会実装に向けた取り組み

アズビル 小松 拓美
 東京電力ホールディングス 山口 英正
 東京電力ホールディングス 河井 伸哉
 東京電力ホールディングス 齊藤 且磨
 東京電力ホールディングス 濱田 拓
 東京電力ホールディングス 沖山 豊
 東京ガス 矢田部隆志
 東京ガス 小笠原 慶

[論文要旨掲載件数]
 研究論文5件

通巻262号 (11月号) 令和5年11月10日刊行 (本文77頁)

[特集] 原子力発電の現状、課題、展望

- (1) 特集にあたって
- (2) 福島第一原子力発電所における廃炉の現状と今後の課題
- (3) 東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興事業
- (4) 原子炉安全対策
- (5) 1F事故後の原発に対する規制
- (6) 既設原子力発電所の今後の展望
- (7) 使用済み燃料の再処理
- (8) 「核廃棄物」と「最終処分」

東京大学 藤井 康正
 東京大学 鈴木 俊一
 日本原子力研究開発機構 飯島 和毅
 原子力安全システム研究所 片岡 勲
 東京大学 更田 豊志
 東京大学 岡本 孝司
 日本原燃 田中 治邦
 日本原子力研究開発機構 中山 真一

[論文要旨掲載件数]
 研究論文5件、技術論文1件

通巻263号 (1月号) 令和6年1月10日刊行 (本文69頁)

[特集] 本格化する洋上風力発電

- (1) 特集にあたって
- (2) 洋上風力政策の現状
- (3) 大型洋上風車の開発と日本市場への導入
- (4) 洋上風力発電を支える直流送電システム技術
- (5) 福島県と進める風力O&M技術開発・人材育成の拠点形成
- (6) 銚子沖洋上風力発電所における技術開発の成果
- (7) 能代港・秋田港の洋上風力発電事業
- (8) 浮体式洋上風力発電の研究開発の進展と課題

東芝エネルギーシステムズ 斎藤 聡
 経済産業省 山本 純平
 MHIベスタスジャパン 後藤 克繁
 東芝エネルギーシステムズ 中山 研
 産業技術総合研究所 佐藤 憲次
 産業技術総合研究所 川合 正洋
 産業技術総合研究所 佐藤 純正
 産業技術総合研究所 田中 元史
 産業技術総合研究所 久保 徳嗣
 産業技術総合研究所 川端 浩和
 産業技術総合研究所 粟飯原 あや
 東京電力リニューアブルパワー 福本 幸成
 秋田洋上風力発電 岡垣 啓司
 東京大学 鈴木 英之

[新春座談会] どうする？日本のバッテリー産業

京都大学 安部 武志
パナソニックエナジー 宇賀治正弥
東芝 高見 則雄
GSユアサ 奥山 良一
日産自動車 秦野 正治
(司会) 三菱電機 光田 憲朗

[論文要旨掲載件数]

研究論文5件、技術論文3件

通巻264号(3月号) 令和6年3月10日刊行(本文75頁)

[特集] 日本における再エネ早期大量導入には何が必要か？

- (1) 特集にあたって 自然エネルギー財団 高瀬 香絵
早稲田大学 鷺津 明由
- (2) 100%自然エネルギーシステムにおける100%自然エネルギー電力システム
自然エネルギー財団/チャルマース工科大学 トマス・ユベリエル
(翻訳) 自然エネルギー財団 高瀬 香絵
斉藤 哲夫
- (3) 洋上風力発電早期大量導入に向けた現状と課題 Ørsted Japan 古川真梨子
富田 沙希
柿沼 雄介
- (4) 太陽光発電の早期大量導入と主力電源化に向けた展望と課題 産業技術総合研究所 大関 崇
名古屋大学 丸山 康司
- (5) 地域との共生
- (6) 再生可能エネルギー超大量導入を実現する系統柔軟性 京都大学 安田 陽
- (7) エネルギーの分散化により地域の産業革命をもたらすメッシュ構想：
デジタルインフラと電力グリッドの融合 東京電力パワーグリッド 岡本 浩
- (8) 電気自動車の活用によるVPP事業の可能性について REXEV 渡部 健

[論文概要掲載件数]

技術論文1件

2-2 編集実行委員会(査読委員会、論文賞選考委員会)

第1回編集実行委員会

(オンライン開催)
[日 時] 令和5年4月4日(火)
[出席者] 27名
[座 長] 藤井 康正

第2回編集実行委員会

(オンライン開催)
[日 時] 令和5年6月20日(火)
[出席者] 26名
[座 長] 岡島 敬一

第3回編集実行委員会

(ハイブリッド開催)
[日 時] 令和5年8月21日(月)
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 23名
[座 長] 岡島 敬一

第4回編集実行委員会

(ハイブリッド開催)
[日 時] 令和5年10月11日(水)
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 22名
[座 長] 岡島 敬一

第5回編集実行委員会

(ハイブリッド開催)
[日 時] 令和5年12月4日(月)
[場 所] 大阪ガス御堂筋東ビル
[出席者] 18名
[座 長] 岡島 敬一

第6回編集実行委員会

(ハイブリッド開催)
[日 時] 令和6年2月20日(火)
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 21名
[座 長] 岡島 敬一

(注1) 編集実行委員会の前半に査読委員会(座長:永田 豊)を毎回開催。

(注2) 第4回、第6回編集実行委員会は、論文賞選考委員会(座長:吉田 好邦)を併催。

3. 総務関係

3-1 表彰

令和5年度表彰式

[日 時] 令和5年8月1日(火) 14:00~14:20
[場 所] 大阪大学 中之島センター

第12回学会賞(表彰1件)

- * (業績) 「バーチャルパワープラント(VPP)システムの実用化」
(受賞者) 石田 文章、松村 洋、守屋 大輔(関西電力)、山口 大翼、河口 健(関西電力送配電)

第12回学会貢献賞(表彰2件)

- * (業績) 「エネルギーシステム・経済・環境コンファレンスの東京大学生産技術研究所での開催および家庭部門のCO₂排出実態統計調査利用研究会の主宰」
(受賞者) 岩船 由美子(東京大学)
- * (業績) 「福島第一、第二原子力発電所等見学会企画・実施およびエネルギー政策懇話会の世話人としての活動による学会行事への貢献」
(受賞者) 工藤 拓毅(日本エネルギー経済研究所)

第11回茅賞(表彰1件)

- * (業績) 「時系列情報を考慮した家庭部門のエネルギー需要予測モデルの構築」
(受賞者) 中村 仁明(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

第11回学生発表賞（表彰2件）

- *（業績）「災害の予測可能性を考慮した近似確率動的計画モデルによる分散型エネルギーシステムのレジリエンスに関する定量的分析」
（受賞者）西倉 寛太（東京大学）
- *（業績）「家庭部門における省エネルギー対策の2020年度までの進捗評価」
（受賞者）藤原 みさき（大阪大学）

第19回論文賞（表彰2件）

- *（業績）「変動性再生可能エネルギー大量導入時の限界システムLCOEの評価方法に関する検討」
（受賞者）松尾 雄司（立命館アジア太平洋大学）、磯永 彰、東 仁、福留 潔（J-POWERビジネスサービス）、岩船 由美子、萩本 和彦（東京大学）
- *（業績）「太陽光・蓄電池システムの平常時運用と非常時運用における停電回避価値を考慮に含めた経済性評価」
（受賞者）太田 哲平、秋元 祐太郎、岡島 敬一（筑波大学）

3-2 総務委員会

第1回総務委員会

（オンライン開催）
〔日 時〕 令和5年4月20日（木）
〔出席者〕 7名
〔座 長〕 藤岡 直人

第2回総務委員会

（オンライン開催）
〔日 時〕 令和5年11月1日（水）
〔出席者〕 9名
〔座 長〕 浜田 誠一郎

第3回総務委員会

（オンライン開催）
〔日 時〕 令和6年2月29日（木）
〔出席者〕 9名
〔座 長〕 浜田 誠一郎

臨時総務委員会

（書面開催）
〔日 時〕 令和6年3月21日（木）
〔出席者〕 8名
〔座 長〕 浜田 誠一郎

以 上